



平成21年2月9日

各 位

会 社 名 ハイブリッド・サービス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 鳴海 輝正
(JASDAQ・コード 2743)

問 合 せ 先
役 職 ・ 氏 名 取締役経営企画部長 田淵幸男
電 話 03-3512-2813

平成20年12月期業績予想(連結・単独)の修正に関するお知らせ

平成20年11月11日付当社「平成20年12月期 第3四半期財務・業績の概況」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成20年12月期連結業績予想の修正

(1) 連結業績予想数値の修正(平成20年1月1日 ~ 平成20年12月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	22,423	89	42	75
今回修正(B)	21,808	73	31	98
増減額(B-A)	614	16	11	23
増減率	2.7%	18.2%	26.5%	-

(2) 連結業績予想の修正理由

9月の米大手投資銀行破綻をきっかけに、金融市場の混乱や為替が円高に振れたことなどが実体経済へ大きな下押し圧力となり、景況感の悪化を受けて、各ユーザーの節約志向が顕著に表れオフィスサプライ品の市場も影響を受けました。

その結果、売上高につきましては、前回予想を614百万円下回る21,808百万円(前回予想比2.7%減)の見込みであります。

営業利益につきましては、前述の売上高減少の影響により、16百万円下回る73百万円(前回予想比18.2%減)、経常利益につきましても、同様に、前回予想を11百万円下回る31百万円(前回

予想比26.5%減)となる見込みであります。

当期純損益につきましては、特別損失として、当社が保有する有価証券のうち時価が著しく下落しているもの等について予想を上回る投資有価証券評価損118百万円(予想は103百万円)を計上、また、当社が平成21年度上半期に予定している本社及び営業所の移転に係わる費用の発生に備え事務所移転費用引当金繰入額19百万円を計上すること等により、前回予想を23百万円下回る98百万円の当期純損失(前回予想は75百万円の当期純損失)となる見込みであります。

2. 平成20年12月期単独業績予想の修正

(1) 単独業績予想数値の修正(平成20年1月1日～平成20年12月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	21,200	53	11	82
今回修正(B)	20,673	49	15	128
増減額(B-A)	526	3	3	45
増減率	2.5%	6.1%	28.0%	-

(2) 単独業績予想の修正理由

連結と同様の理由により、売上高につきましては、526百万円下回る20,673百万円(前回予想比2.5%減)の見込みであります。

また、前述の売上高減少による利益減少を自助努力によるコスト削減の推進にて補った結果、営業利益につきましては、前回予想を3百万円下回る49百万円(前回予想比6.1%減)、経常利益につきましては、前回予想を3百万円上回る15百万円(前回予想比28.0%増)となる見込みであります。

当期純損益につきましては、特別損失として、当社の連結子会社である海伯力(香港)有限公司の財政状態及び回収可能性等を勘案して、投資損失引当金繰入額として25百万円、また、当社が保有する有価証券のうち時価が著しく下落しているもの等について予想を上回る投資有価証券評価損118百万円(予想は103百万円)を計上、さらに、当社が平成21年度上半期に予定している本社及び営業所の移転に係わる費用の発生に備え事務所移転費用引当金繰入額19百万円を計上すること等により、前回予想を45百万円下回る128百万円の当期純損失(前回予想は82百万円の当期純損失)となる見込みであります。

今回の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上